

平成 29年度後期 答案用紙 (1枚中 1枚目)

(注意) 1. 専攻・学番・氏名を必ず記入する。

2. 答案は、成否にかかわらず持ち出してはならない。

神戸大学医学部保健学科

授業科目	公衆衛生学	担当教員	中澤 港	試験日	平成 30年 2月 5日 (月) 3時限
専攻	看護学専攻	学番	氏名	解答例	採点

問1 (30問×2点)

(1) 環境保健学(環境衛生学は△)	(2) 前提条件 (prerequisites) 前提, 条件等は△	(3) 生態学的研究 または地域相関研究 (ecological study)	(4) リスク (risk) 累積罹患率も可	(5) リスク差(risk difference) 累積罹患率差 超過危険(excess risk), 寄与危険(attributable risk)も可
(6) 母性の思い出しバイアス (maternal recall bias)「母の…」も可。リコールバイアスは△。バイアス抜け△	(7) 陽性的中率 (陽性反応的中率 陽性反応的中度 陽性的中度なども可)	(8) 都道府県 (地方公共団体は△)	(9) 国民健康保険	(10) 身体
(11) 製造物責任法 または PL 法	(12) 保健所	(13) 国民生活基礎	(14) TFR	(15) 先天異常 先天奇形・異常も○ 先天奇形は△
(16) 妊娠高血圧症候群(PIH) 妊娠中毒症は△	(17) 健診受診人数 (意味があていれば○)	(18) 二 (2でも○)	(19) 3	(20) 624
(21) 幸福	(22) 企業 (法律の文言なので「事業者」等は△)	(23) PHEIC	(24) ハンセン病 (法律の文言なので「らい病」は△)	(25) 検疫
(26) インフルエンザ	(27) 罹患率 罹患(者)数でも○ 患者数は△	(28) 消費者庁	(29) 事業主 (法律の文言なので「雇用者」等は△)	(30) 循環型社会形成推進基本法 (一部抜けは△)

問2. (10問×2点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
a	d	e	a	d	b	b	b	d	d

(1) ビタミン C が誤り, (2) 保護者が誤り。「家族等のうちいずれかの者」, (3)  $(40/10)/(10/90)=36$ , (6) 基本的に「予防」は公的医療保険の適用対象にならない, (7) むしろ HACCP 導入前が最終製品の試験に重点をおいていた, (8) ペストは1類, (9) 入院率(Berkson)バイアスは, 対照群が一般母集団を代表しないことから起こる選択バイアスの一つ, (10) 労働基準監督署は各都道府県に数カ所

問3. (20点:採点基準は、説得力があることが第一です。ただし事実認識の明らかな誤りは減点します)